

SOSiLA海老名の施設紹介



<建物外観>

- ・圏央道「海老名IC」及び、東名高速道路「海老名JCT」へ容易にアクセスが可能で、高い配送性を有する立地
相模川以東に位置するため、足元の道路混雑が限定的であり、雇用環境の確保も比較的容易
- ・1～3階までランプウェイでトラックが着車でき、1フロアオペレーション及び2フロアオペレーションが可能な効率性の高い施設計画
- ・1階ではチルド帯ニーズに柔軟に対応するため、冷蔵設備への対応が可能（将来対応）
- ・外壁にはデザイン性・耐久性・防汚性・断熱性の高い金属サンドイッチパネルを標準採用
- ・ランドスケープは四季の花木を織り交ぜることで豊かな沿道景観を形成。外部へ開放されたポケットパークを設けることで、地域との共生を図る

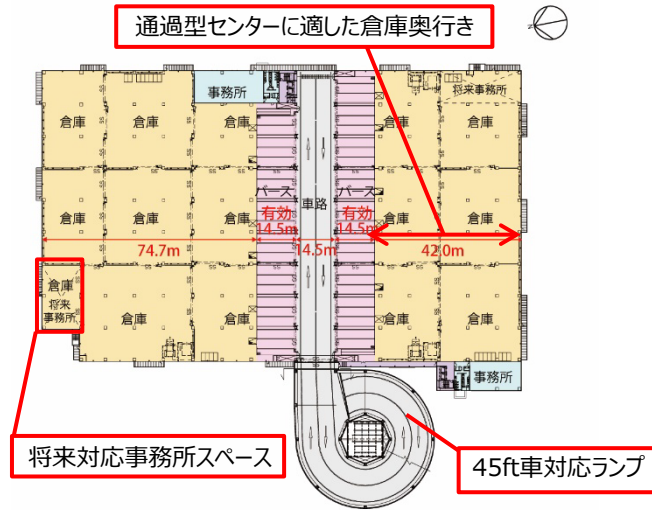
<エントランス>



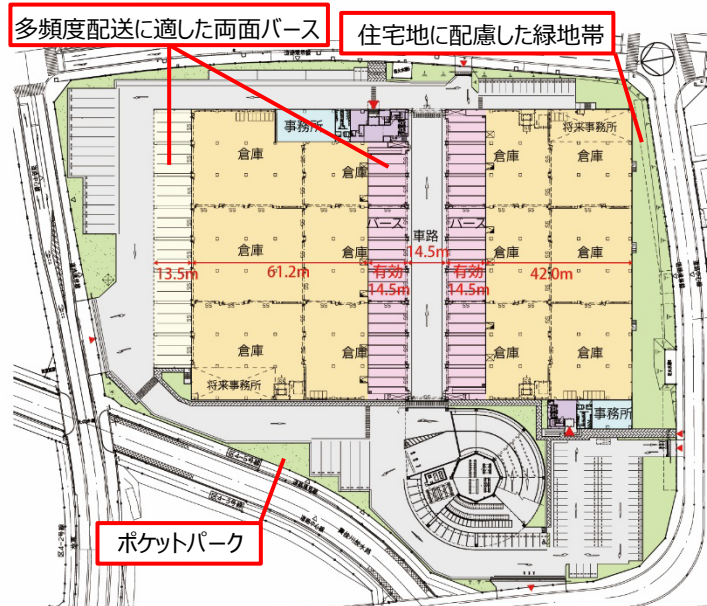
働く場としての環境整備・計画の特徴

平面計画の特徴

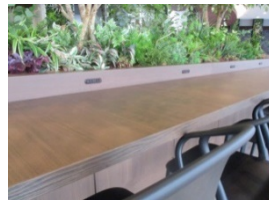
2階



1階



富士山を望む最上階ラウンジ ※眺望をお約束するものではありません

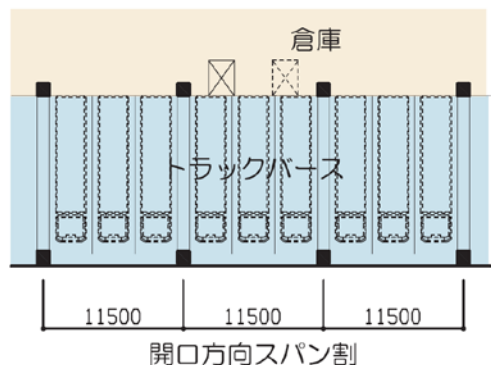


- ・無人売店を従業員向け専用ラウンジに設置予定
- ・ラウンジ内の一部テーブルに無料コンセントを設置予定
- ・共用ラウンジ内は無料でWi-fiを利用可能とする計画

基本スペック・災害への備え

高い水準の基本性能

- ・3階間口方向の柱間隔を11.5mとすることで、1スパンに大型トラックを3台接車可能



- ・倉庫床荷重は、1-2F 1.5t/m² 3-4F 1.8t/m²に設定、全館2.5tフォークリフト対応
- ・倉庫内梁下有効高さを5.5m以上確保（一部を除く）

環境への配慮

- ・屋上緑化・太陽光パネルの設置により太陽光の輻射熱を低減し、最上階の温熱環境の改善に一定の効果が期待できます
- ・外壁に断熱性の高い金属サンドイッチパネルを採用、室内温熱環境の改善に一定の効果が期待できます



防災

- ・万が一の停電時に最低限施設を利用できるよう、非常用発電機を実装し約30時間の停電に対応しており、相模川氾濫時の浸水レベル(0.5～3.0M)以上の高さに設置することで、浸水時の停電にも対応可能
- ・防災センター等共用部のほか、専有部の一部（事務所コンセント・エレベータ・照明・フォークリフト充電コンセント等）への非常電源を供給



- ・消防ガイドライン対応として、連結送水管を2系統及び2階以上の外部に接するすべての防火区画に非常用進入口を設置します。

